

前 奏 黙想	祈 禱
讃美歌 115 ああベツレヘムよ	讃美歌 118 くしき星よ、やみの夜に
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 エレミヤ書 31:15~17	黙 禱
マタイによる福音書 2:16~18	主の祈り 564
讃美歌 116 よろずの星かげ	讃 詠 546 聖なるかな
説 教 『降誕の後に響いているもの』	祝 禱 後 奏

イエスが生まれる前のように、生まれた後も、父ヨセフは夢で天使の御告げを聞いた。ヘロデ王が、イエスを探し出して殺そうとしているからエジプトへ逃げよ(マタイ2:13)、というものだった。「ヨセフは起きて、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトへ去り、ヘロデが死ぬまでそこにいた(2:14~15)」。

「ユダヤ人の王としてお生まれになった(2:2)」イエスを寸での差で殺しそこなったヘロデ王は怒り狂い、「ベツレヘムとその周辺一帯にいた二歳以下の男の子を、一人残らず殺させた(2:16)」。殺された男児は何人いたのか。20人か、50人か。信じがたい狂気の沙汰だが、聖書以外の歴史資料にはその記録は見あたらない。こんなことは茶飯事で、あえて歴史に記すほどのことでもないからか。このヘロデは「大王」と呼ばれ、神殿再建にも尽力したそれなりの統治者だった。とはいえ、怒りに任せて人々を殺しうるヘロデの立場とて、ローマ帝国に取り入って認可されている傀儡王権だった。

それにしてもマタイ福音書は、この悲惨な出来事を通して何を語っているのか。「ヘロデは占星術の学者たちにだまされたと知って、大いに怒った(2:16)」。学者たちがヘロデを「だました」から虐殺が起こった。でもそれをさせたのは神じゃないか(2:12)。イエス一人が生き延びるために、男の子が数十人殺されるという「ろくでもない計画」を神はなぜ立てたのか。学者が「生まれた王はどこか(2:2)」とヘロデに尋ねたことも軽率だった。まさか、王が粗末な「飼い葉桶」に寝ているとは思わなかった。

「こうして、預言者エレミヤを通して言われていたことが、実現した。〔ラマで声が聞こえた。激しく嘆き悲しむ声だ。ラケルは子供たちのことで泣き、慰めてもらおうともしない。子供たちがもういないから〕(2:17~18)」。「ラケル」とは族長ヤコブの妻でヨセフの母(創世 30:24)。預言者にとっても遠い昔の出来事だ。預言者はここから続けてこう語る。「主はこう言われる。泣きやむがよい。目から涙をぬぐいなさい。あなたの苦しみは報いられる、と主は言われる。息子たちは敵の国から帰って来る(エレミヤ31:16)」。預言者は「その時」にこれから起こる、バビロンに捕囚された民の帰還を語った。

ベツレヘムでの二歳以下の男児虐殺事件(マタイ2:16)。ここには四つの時代が重ねられている。一つめは3千数百年も昔の「ラケルの嘆き」。二つめは2千6百年くらい昔のバビロンからの帰還。三つめは二千年前の降誕に際して起こった惨劇。四つめは現代の私たちが生きる世界。それぞれの時代のそれぞれの苦しみに対し、「あなたの未来には希望がある、と主は言われる。息子たちは自分の国に帰って来る(エレミヤ31:17)」。私の未来とは何か、希望とは何か、自分の国に帰るとはどういう意味なのか。

「預言者エレミヤを通して言われていたことが、実現した(マタイ2:17)」。そうなのだ。これらすべてに主なる神の一貫した御心と御手があった。すべての時代の、すべての苦しみの中に、主なる神キリストが共におられる。これが私たちの未来、私たちの希望だ、私たちはキリストの許に還るのだ。

イエスが助かるために数十人の男児が殺されたのではない。男の子たちの命と「激しく嘆き悲しむ声(2:18)」を、幼子イエスが身に負って生き延び、世界の民を救うために、神である命を犠牲にする十字架へ赴いた。イエス御自身の内にはあの男の子たちの命があった。今ここにある私たちの命には、キリストの命と、あの男の子たちの命が共に響き合っている。そういう未来、そういう希望なのだ。

私が苦しい時 それはキリストの苦しみと ベツレヘムでのあの嘆きが この身で響いているから
私の命は私のものではない 他者の命を奪ってはならぬように 私の命も勝手に奪ってはならぬ

2024年の礼拝は今日が最後。キリストなる神よ、そして皆様、見える所でも見えない所でも、大きな事も小さな事も、ありがとうございました。すべてが結びついて2024年のキリストの体でした。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。